

4月1日から

消防署の体制が変わります

かねてから、洞爺湖温泉地区の消防・救急体制については、地域住民の皆様や関係各位には説明をして来たところですが、改めて町民の皆様にお知らせします。

現在の洞爺湖温泉地区の消防・救急体制は、噴火により暫定的な配置となっていました。トンネル開通により、不便が解消されたことなどから、噴火以前の姿に戻すことになりました。

【変更内容】

① 4月1日から洞爺湖消防署は伊達消防署と統合し、西胆振消防組合伊達消防署洞爺湖支署となります。それに伴い温泉分署を洞爺湖支署に統合するとともに、洞爺分署を洞爺出張所とします。

② 温泉地区の消防・救急体制は、大型タンク車を洞爺湖支署に移動配置し、救急車は減車します。

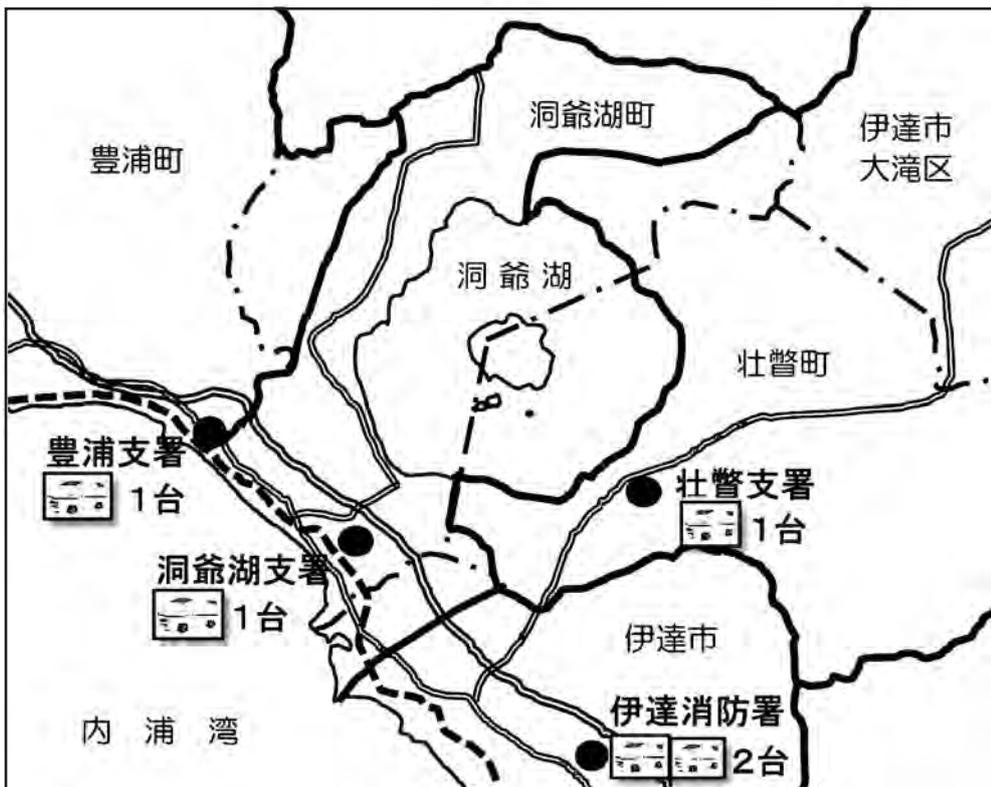
③ 温泉地区には、ポンプ車1台を残し、第2分団の消防団員が初期の消火にあたり地域の安全を守ります。

④ 救急車の出動体制に

ついては、洞爺湖支署から高規格救急車に救急救命士が乗車し出動します。

温泉地区で救急出動が重複した場合は、次に近い壮警支署又は、豊浦支署から救急車が出動し、さらに温泉地区で重篤な場合には、洞爺湖支署からも署員が連絡車で現場に向き対応します。

※西胆振消防組合管内の救急車は5台(伊達2台、洞爺湖1台、豊浦1台、壮警1台)体制で地図内エリアを活動します。
問合せ 西胆振消防組合洞爺湖消防署 ☎76・2119



救急車5台体制の
出動範囲略図